



感染管理認定看護師

佐々木 恭兵

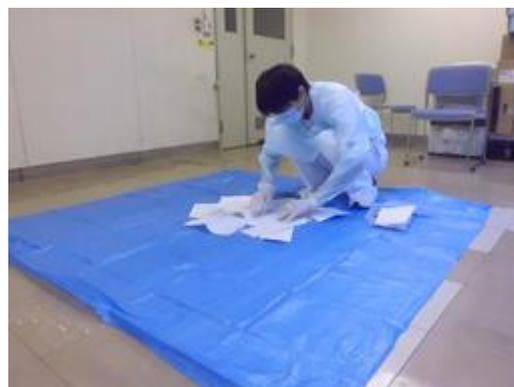
私は、感染管理に関わる専門的な教育を受け、現在の資格を取得後、3年目となりました。現在は、感染管理業務専従として、患者さんや職員、村山医療センターに関わるすべての人を感染から守ることを使命とし、活動をしています。病院には疾患を抱えている患者さんが多くいますので、その方々が感染症に罹患した場合、本来行うべき治療が滞ってしまう可能性もあります。私はそのようなリスク回避のために感染管理活動をしています。

11月に入りいよいよ、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行する季節となりました。先月、全職員を対象に院内感染対策研修「インフルエンザについて」の講義を行いました。職員も感染予防に対して十分に注意を払います。インフルエンザは咳やくしゃみをした際に口や鼻から出るしぶきを介して感染が広がっていきます。また、そのしぶきが周囲の環境に付着し、そこに触れなんらかの形で体内に侵入することでも感染します。そのため、来院される際はマスクを着用して頂き、手指の消毒や手洗いをいつも以上に意識して実施して頂けると感染予防ができます。来院される皆様のご理解・ご協力も必要不可欠です。院内の感染予防対策にご協力頂きますようお願い致します。



感染対策に関する活動

感染対策の活動として、病棟で活動する感染担当看護師(リンクナース)と病棟をラウンドして、清潔な環境が維持できているか確認していきます。その結果は、委員会内で共有し、「感染対策ラウンドニュース」を作成して、各部署にフィードバックを行っています。また、感染対策委員会では勉強会を実施し、リンクナースに感染対策に関する知識向上や技術の習得につなげています。10月の感染対策委員会では、リンクナースに対して「嘔吐物処理方法」について実演を交えた研修を行いました。



平成 29 年度は 6 回「ニュース」を発行しました。

感染管理認定看護師2名います！